

平成27年7月30日

高知県総合教育会議 報告メモ（骨子）

鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻（教職大学院）

佐古 秀一

I 学校コンサル事業の骨子

II 学校の課題

(1) 学校の問題認識の共通性

学校（教職員）の児童生徒の問題認識については、（地域や校種を越えて）驚くほど類似している。⇒ 自信，自己肯定感，自尊感情の低さ

(2) 特徴的な傾向

少子化，仲間集団の固定化から由来する自信のなさ，家庭環境から由来する自尊感情の低さなど

(3) 学校の課題解決力の弱体化

(4) 課題解決のための観点

1) 不利な環境を克服している学校（効果のある学校）の特徴から

2) 学校の課題解決力を高めることの重要性（学校の内発的な改善力という観点から）

III 方策

持続的な学力の形成，自信などの心の育成を達成しようとするなら，自校の児童生徒の実態に即して実践改善を継続的，組織的に展開する「学校づくり」が必要となる。施策の焦点を指導方法の改善，個々の教職員の力量形成と共に，内発的改善力を持つ学校づくりにおくことが，高知県のさらなる教育振興には不可欠となる。

1 内発的な改善力をもつ学校づくり

(1) 学校組織マネジメントの質の転換と実践化

1) シンプルな学校ビジョン形成と共有化

2) 教職員の学びをつくる校内研修

(2) 学校組織マネジメントの研修-実践の一体化

2 教育指導の改善：心にナビとエンジンを持つ子どもを育てる

- (1) 「とにかくほめる」から「丁寧に認める」へ
- (2) わかった感，できた感のもてる授業づくり
- (3) 社会参加，社会貢献のイメージをつくるキャリア教育
- (4) 児童生徒の主体的・自主的活動（とくに社会貢献活動）

3 学校を元気にする教育政策

- (1) 総合的な（包括的な観点からの）学校支援方策
- (2) 学童期，幼少期の施策の充実及び連携教育の推進
- (3) 地域創生のエンジンとしての学校の活性化